# 国民健康保険のしくみと国保の財政状況

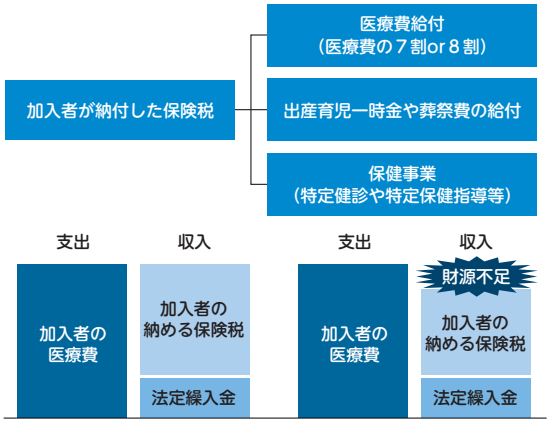
国民健康保険は、加入者の皆様が国民健康保険税を出し合い、病院やけがをしたときの医療費に充てる社会保障制度の一つです。

## 国保財政の仕組み（概要）

加入者が納付した保険税や国・県からの交付金を元に、加入者の医療費を支出しています。

これまでは、保険税負担をなるべく増やさないように、一般会計繰入金や基金を活用して調整してきました。その結果、保険税水準としては県内でも低く抑えることができています。

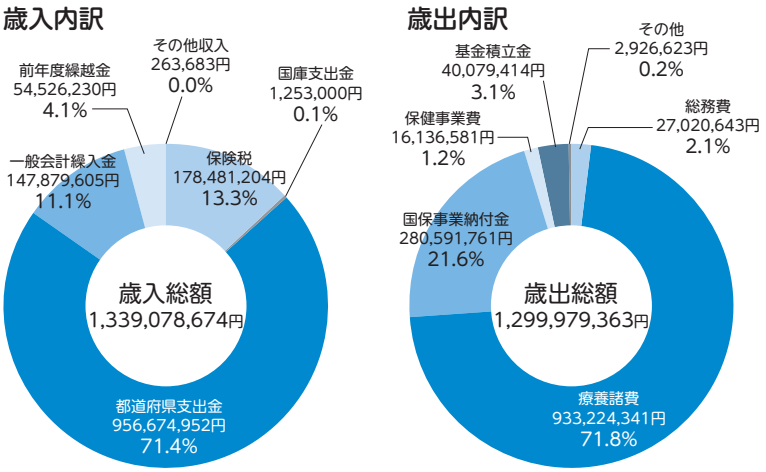
ただ、**加入者減少による保険税収入の減少や医療費の増加**が影響して、伯耆町の国民健康保険の財政状況は非常に厳しくなっています。今後については、財政の安定化や制度の持続可能性確保に向けた取り組みが必要となってきています。




## 1. 伯耆町国民健康保険の状況

### 令和７年度財政状況

- 歳入のうち、71.4％を県支出金、13.3％を保険税が占めています。
- 被保険者数の減少等により、収納額は全体で前年度比約260万円減少しています。
- 一般会計繰入金は1億4,788万円で、内訳は法定内9,547万円、法定外5,241万円となっています。
- 歳出のうち、71.8％を療養給付費等の医療費、23.6％を県に支払う納付金が占めています。
- 医療費全体は、令和６年度と比較して若干減少していますが、それ以上に被保険者数の減少が著しく、一人当たりの医療費は逆に増加しています。



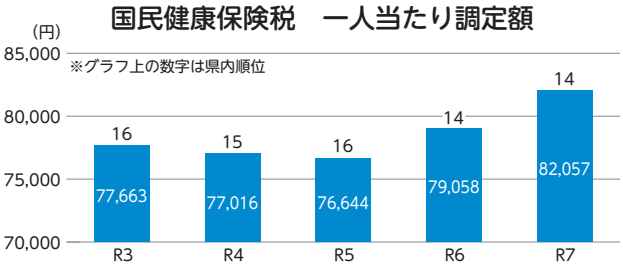

### ●被保険者の状況

国保世帯数および国保被保険者数は、後期高齢者医療への移行や社会保険の適用拡大に伴い減少し、町人口の約21％を占めています。

| R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|
| 2,569 | 2,449 | 2,288 | 2,200 | 2,093 |

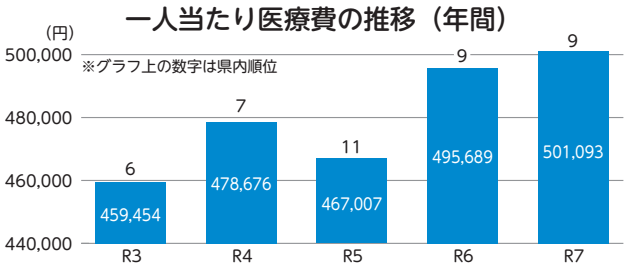
### ●一人当たり保険税調定額

一人当たり調定額は、令和６年度からは所得割の影響で増加傾向ですが、昨年度同様、県内19市町村で高いほうから14番目であり、保険税額としては低い水準を維持しています。




### ●一人当たり医療費の状況

一人当たりの医療費は、医療の高度化等により年々増加しており、県内19市町村で高いほうから９番目となりました。




## 2. 保健事業の実施状況

伯耆町国民健康保険では、40歳以上の人に特定健診、36歳以上で偶数年齢の人に人間ドック、56歳以上で偶数年齢の人に脳ドックを実施しました。特定健診の受診率については、令和６年度に初めて50％を超え、令和７年度は49.2％でわずかに減少したものの、継続的に高水準を保っています。

問い合わせ先　健康対策課 健康増進室　0859-68-5536